



【こだま くにお さん】北光 / 66歳
●千歳市文化団体連絡協議会事務局長

文化・芸術の感動を多くの市民に伝えたい

市内ではさまざまな文化・芸術活動が行われています。文化団体連絡協議会の行事や活動の内容などについては千歳市文化団体連絡協議会事務局 ☎(22) 7 1 7 0 へお問い合わせください。

芸

術の秋。音楽の発表会、絵画の作品展など、市内ではさまざまな文化・芸術行事が開催されています。千歳市文化団体連絡協議会(文団協)は、チトセ市民芸術祭を開催するなど、市民の文化活動の振興・発展に力を注いでいます。児玉さんは平成18年から事務局長として活躍しています。

「はじめは不安もありました。実行委員会を立ち上げての芸術祭などは会員の皆さんの支えがあって、順調に開催することができました」と当時を振り返ります。

「文団協の活動の主役は会員の皆さんです。活動の主体となり、企画や準備、運営を自らの手で行うことはた

くさんの労力が必要です。しかし、やり遂げることで新たな喜びを得られます。活動を発表するだけではなく、運営の主体となることでつぎの活動につながり、その活動を発展させることになり「ますます」と話します。

文団協には現在、約30団体、2千人の会員が所属しています。「活動を通してたくさんの方との出会いがあり、それが健康促進や社会参加など、充実した生活に結びついています。自分たちの活動だけではなく、さまざまな活動に触れることは勉強にもなりお互いの活動のはげみになります」と児玉さん。

児玉さんは以前、千歳高等学校などで新聞部の顧問をしていました。その経験を生かして、『文団協だより』を年

7回程度発行し、会員間の情報交流に役立っています。

活動の中心となる30歳代から50歳代の方や、つぎの時代を担う子どもたちの会を増やしたいという児玉さん。

「文化・芸術に直接触れることで大きな感動が得られます。まずは、たくさんの方に興味を持ってもらうきっかけをつくりたい。また活動している文化団体の子どもたちの前での発表機会を増やし、文化のすばらしさをつぎの世代に伝えていきたい」とこれからの目標について話します。

「まずは文化団体の活動のようすをみてほしいですね。人生観が変わるかもしれませんよ」と力強く語ってくれました。

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



KUNIO
KODAMA

児玉

国男

さん